

令和2年度 事業計画

令和2年度次の事業を行う。

事業所	介護保険事業等	定員
本部(事務局)		
ケアハウス ビラおおだ	ケアハウス	50名
	通所介護 介護予防通所介護相当サービス 訪問入浴介護 介護予防訪問入浴介護	45名
	訪問介護 介護予防訪問介護相当サービス 障がい福祉サービス	
	居宅介護支援 介護予防居宅介護支援 介護予防ケアマネジメント	
大田市福寿園	養護老人ホーム 訪問介護サテライト事業(出張所)	50名
相愛保育園	保育所 一時預かり事業	120名
ビラあさやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	40名
	認知症対応型通所介護 介護予防認知症対応型通所介護	12名
ビラたかやま	通所介護 介護予防通所介護相当サービス	45名
5事業所 本部(事務局)除く	21	

基本理念

- ①地域社会に開かれた事業所(法人)づくり
- ②利用者本位の高品質なサービスの提供
- ③永続する経営基盤の確立

重点項目

- | | |
|-----------------------|--------------|
| 1. 人材育成・確保 | 4. 経営基盤の構築 |
| 2. 将来に向けての事業展開とサービス提供 | 5. 地域貢献計画 |
| 3. 施設・事業所の整備、管理計画 | 6. 計画に対する評価等 |

基本方針

中・長期計画Ⅱ期最終年度となる今年度は、ワークライフバランスに配慮した職員の健康管理の充実を図り、心身ともに働きやすい職場環境づくりを進め、職員が確保、定着する法人づくりを目指す。

昨年度進めてきたリーダー的人材の育成については、研修等育成プログラムの修正を行い、キャリアパスに応じた目標達成を図る。

将来に向けての事業展開とサービス提供については、養護老人ホームの建替えに向けた具体的な検討を進めていく。また、これまで実施してきた事業の特色づくり、魅力あるプログラムを評価し、永続する経営基盤の確立のため、収入確保に向けて更に高品質なサービス提供を目指す。

中・長期計画Ⅱ期最終年度として、計画全体の評価を行い、課題等の整理を行うとともに、見直しを図り、次期計画のⅢ期へ繋げていく。

令和2年度重点計画(方針)項目

I 人材育成、確保

1) 人材育成の推進

① 育成プログラムの充実

- ア 育成プログラムの修正
- イ 育成プログラムの実施
- ウ 人材育成支援策等の活用
- エ 職場復帰等プログラムの実施

② リーダー的人材のレベルアップの実施

- ア 経営的視点を持った職員の育成

③ 目標管理・キャリアパスの充実

- ア 目標達成に向けての実施
- イ キャリアパスの実施
- ウ 目標管理とキャリアパスとの整合性についての確認

④ 評価表等の活用による自己評価

- ア 評価表に基づき実施、評価
- イ 利用者アンケートの実施、評価

2) 職員研修体系の充実

① 職員基本研修体系の充実

- ア 職員研修基本計画による実施
- イ 事業所内研修の充実
- ウ 実践研究発表会の実施

② 専門性の充実

- ア 認知症ケア実践に対する職員の配置
- イ 連携による重度化への対応(医療的ニーズ等)
- ウ 専門性を有する職員の育成
- エ 実務経験を満たす資格取得の奨励
- オ 専門的資格取得等に対する支援の実施

3) 帰属意識の推進

① 帰属意識の推進

- ア 帰属意識の推進

② 働きがいのある職場環境の推進

- ア 職場環境の適正化(業務内容の把握・周知)
- イ 健康管理の充実(就労等の把握・周知)

③ 職員表彰の推進

- ア 職員表彰の推進(業務内容に伴う表彰)

4) 人材確保に向けた推進

①福祉系学校との関係の推進

ア 学校訪問、各種就職説明会等への積極的な参加

②実習生・ボランティアの積極的な受入れ

ア ボランティア・実習生の受入れ継続

イ 実習の質の向上（マニュアルの作成）

ウ ボランティアの育成（マニュアルに沿った指導）

③広報活動の推進

ア 情報の発信の継続

④職員採用に向けた推進

ア 非正規職員の雇用の検討、実施

イ 職員採用試験の実施

ウ 幅広い受験案内の配付（インターネットへの配信・登録）

⑤障がい者雇用の促進

ア 法定雇用人数の雇用

イ 就労の為の環境の充実

⑥就業促進及び定着化

ア 就業促進及び定着化

イ 職員の処遇改善に向けての周知・実施

II 将来に向けての事業展開とサービス提供

1) 大田市福祉等整備計画に伴う事業展開の検討

①介護予防・日常生活支援総合事業の推進、評価

ア 介護予防・日常生活支援総合事業の推進、評価

2) サービス内容に関する評価と修正

①在宅・保育事業の特色づくり、魅力あるプログラムの評価

ア 魅力的で特色のある事業所づくりの取組み

②施設事業の特色づくりの推進

ア 施設事業サービスの特色づくりの取組み

③PRの強化推進

ア 効果的なPR方法の取組み

④地域包括ケアシステムに向けた事業の評価

ア 地域包括ケアシステムに向けた事業の検討

イ 制度改正に伴う事業の検討

3) リスクマネジメントの強化

①事故防止対策委員会の在り方検討

- ア 事故のない事業所づくり
- イ 事故防止対策の啓発推進

4) 事業体系の見直し、明確化

- ① 養護老人ホーム大田市福寿園の建替えに伴う新たな事業展開の検討、及び計画作成
 - ア 養護老人ホームの検討及び具体的な施設整備計画の作成
 - イ 在宅サービス事業展開計画の作成と方向性の明確化
 - ウ 新たな事業展開による職員配置の検討及び職員配置計画の作成

Ⅲ 施設・事業所の整備、管理計画

1) 建物の長期維持を目的とした管理

- ① 大規模修繕の計画的な実施
 - ア I 期の見直しとⅡ期の大規模修繕計画の作成と実施
 - イ 建物維持管理計画の推進
- ② 小規模修繕の実施
 - ア Ⅱ期の小規模修繕の実施

2) 大型備品の整備

- ① 大型備品導入の検討、実施計画書の作成
 - ア I 期の見直しとⅡ期の大型備品購入計画の作成と実施
- ② 適正な備品管理
 - ア 備品管理計画に基づく効率的な運用推進

Ⅳ 経営基盤の構築

1) 目標達成に向けた推進

- ① 課題の把握、分析、改善の検討
 - ア 施設整備積立計画修正
 - イ 施設整備に係る試算
 - ウ 大規模修繕・大型備品整備に係る試算
 - エ 介護報酬等の加算取得に向けた取組み
 - オ 補助金の情報収集及び確保の研究
 - カ 物品等の管理計画修正及び実施

Ⅴ 地域貢献計画

1) 法人・事業所での計画実施

- ① 計画による実施
 - ア 地域貢献活動計画の実施
 - イ 地域貢献費の予算化

VI計画に対する評価等

1) 次期に向けての取組み

①新たな課題の明確化、次期計画への反映

ア 課題等の整理

イ 見直しに係る検討

2) 計画遂行状況確認

①中間評価の実施

ア 進捗状況の評価

イ 見直しに係る検討

1. 本部(事務局)

中・長期計画Ⅱ期最終年度となる今年度は、基本方針に掲げる重点項目の課題について計画的に取り組んでいく。

職員の確保、定着する法人づくりに向けては、働き方改革関連法に対応した職員の処遇改善を図り、ワークライフバランスに配慮した心とからだの健康づくりを進める。

人材育成については、エルダー制度を導入し、新人職員が安心して働ける労働環境を整え、職員の定着に向けて取り組んでいく。また、リーダー的人材のスキルアップについては、キャリアパスに沿った目標の達成に向けて支援する。

経営基盤の確立については、健全かつ適正な経営を永続していくため、各事業においてこれまで実施してきた事業の特色づくり、魅力あるプログラムの評価を行い、収入の維持に向け、更に高品質なサービスの提供を進めていく。

また、養護老人ホームの建て替えに向けた具体的な検討と併せ、今後の事業展開の検討を行う。

施設の維持管理と必要な備品の整備については、中・長期計画及び社会福祉充実計画に沿って計画的に進めていく。

中・長期計画Ⅱ期計画の全体評価を行い、課題等の整理、必要に応じた見直しを図り、次期計画に繋げる。

会議等

月	会議等	月	会議等
4	施設長会議 第三者委員報告会	10	施設長会議 中間報告会 理事会 職員親睦運動会
5	施設長会議 監査会 理事会	11	施設長会議 全事協中・四国ブロック会議(松山市)

6	施設長会議 定時評議員会	12	施設長会議
7	施設長会議	1	施設長会議
8	施設長会議	2	施設長会議 内部経理監査
9	施設長会議	3	施設長会議 理事会 評議員会

研修計画

法人全体研修

月	研修名	月	研修名
4	新人職員研修	8	新人職員研修
5	リーダー職員研修	9	交通安全研修
6	人権同和問題研修会	11	メンタルヘルス研修会 (ストレスチェック実施者)
7	メンタルヘルス研修会(管理者向け) 実践研究発表会	12	リフレッシュ研修

法人役員等研修

経営セミナー	監事研修
指導監査、役員研修	苦情解決研修

事業所外研修

全事協中国、四国ブロック研修(山口市)	リスクマネジメント研修
重度化対応研修(医療ニーズ、介護技術)	レディースリーダー研修
認知症ケア専門研修	接遇研修
その他専門知識等研修	権利擁護、個人情報保護等研修

法人内部研修

法人内部講師研修

事業所内研修

事業所内研修	救急法研修
OJT(日常業務を通じた職員教育)	復命研修

施設サービス

2. ケアハウスピラおおだ(ケアハウス)

中・長期計画Ⅱ期の評価や課題を解決しながらⅢ期に向け業務に取り組んでいく。

法人の基本方針のひとつ「ワークライフバランス」の推進に向けて、無駄を除き簡素化を追求し就業時間の徹底と職員間のコミュニケーションを大切に働きやすい職場環境作りで離職のない職場へと繋げる。

リーダーは人材育成プログラムを通し、スキルアップを高め、職員への指導力の向上やチーム力を高め、施設全体のレベルアップへと繋げる。

入居者の笑顔と喜びの声が行き交う施設を目標とし、「元気な暮らし」をテーマに引き続き「食」と「健康管理」に力を入れ、入居者の日々の健康管理や「ふれあい食堂」の充実を図る。また、永く安心して生活出来るよう専門職として、医療・介護施設等と連携しながら支援力を高め重度化予防に努める。

地域と食や行事等の交流及び連絡会議を継続し、情報共有しながら地域から信頼されるように地域貢献計画を展開する。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	出岡地区自主防災会合同防災連絡会議 野外散策(花見) ガーデンランチ	10	秋の行楽遠足 秋の味覚三昧 折り紙交流(相愛との交流)
5	火災避難消火訓練(ピラおおだデイサービス合同) ケアハウスピラおおだ合同通信発刊 パン作り(相愛、食育ボラとの交流)	11	川合町文化祭への参加 野外散策(紅葉見物、銀杏のライトアップ) 防犯訓練 感謝を込めてフルコース(地域交流) イルミネーション点灯式
6	行楽遠足(手作り弁当持参) 初夏の炭火焼き 入居者懇談会 食中毒・疾病予防勉強会	12	忘年会 クリスマス喫茶 餅つき(出岡子ども会との交流) そば打ち しめ縄交流(相愛との交流)
7	七夕祭り 納涼祭(地域交流)	1	新年会 初詣(物部神社) 新春ゲーム大会
8	そうめん流し(世代間地域交流) 夜間火災避難訓練及び合同防災連絡会議(出岡地区自主防災会と合同)	2	節分祭参拝(物部神社) ケアハウスピラおおだ通信発刊
9	敬老会 川合町敬老会出席 敬老週間のお出掛け	3	ひなまつり喫茶 大田市福祉展への作品出展、見学 お茶会交流会(相愛との交流)

その他	名画シアター(年2回)、買物外出支援(月1回)、ピラ'sキッチン(年4回) 誕生食(月1回)、ミニ運動会(年1回)、クラブ活動(園芸、脳トレ)、法話会(月1回)
	(地域交流・貢献) ふれあい食堂(週3回)、ふれあい食堂民生委員との連絡会議(年2回)、 非常食づくり(年3回)、交通安全立哨運動(春)、川合高齢者通いの場(週1回)、 出岡サロン(月1回)、社交ダンス交流(月1回)、社交ダンス発表会(年1回)、 手芸交流(月1回)

3. 大田市福寿園(養護老人ホーム)

入園者が安心して園生活が送れる為に、認知症を有する方や精神疾患等を持つ入園者一人ひとりの生活状況、身体状況を把握し、職員間で情報を共有し、各事業所と連携を図り入園者の状況に添った支援を継続していく。近年入園者の平均年齢も下がっている為、作業棟で行っている手芸、趣味活動だけでなく、園外活動や外出支援等を取入れ、活動の内容をさらに充実させ、楽しみや喜び、生きがいのある生活が送れるよう支援する。また、入園者のもう一つの楽しみである「食」についても、年間を通して希望に添った食事の提供の継続と、病状により食事制限のある入園者の方も他の入園者と一緒に楽しく食べられるお茶会を継続する。

地域交流として、昨年度から開催した感謝会や川合町ふれあいの会等を実施し、地域との関わりを深めると共に情報交換の場を作る。

福寿園建替えについては本部との協議を重ねていくと共に、施設見学や設備、備品等について福寿園内で検討を進めていく。

定期的に係長、主任会議を開催し、課題を解決し働きやすい職場環境作りに取り組んでいく。大田市と待機者状況、入園者状況等の情報交換を継続し、入園者定員50名を維持していく。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	花見お茶会	10	福寿園祭、家族交流会 川合保育園、食育ボランティアとの角寿司作り
5	川合保育園との合同運動会 園芸活動	11	秋季法要 川合町文化祭作品展示 福寿園川合町ふれあいの会
6	福寿園川合町ふれあいの会 土砂災害訓練 福ふく広報発行	12	感謝会(地域交流) 餅つき クリスマスお茶会 園芸活動 正月飾り付け

7	施餓鬼法要	1	新年お茶会
8	川合保育園との夏祭り 防犯訓練	2	節分お茶会 福ふく広報発行
9	長寿を祝う会 川合町敬老会出席 夜間火災避難訓練(地域住民参加)	3	春季法要 ひな祭りお茶会 火災避難消火訓練
その他	法話会(月1回)、ルーテル講話(年4回)、誕生会(月1回)、お茶会(月1回) お楽しみクラブ(毎日) 屋外活動(随時) 外出支援(月1回) 交通安全ストラップ作り		

保育サービス

4. 相愛保育園

開所日数 363日(1月1日～1月3日まで休園)

サービス提供時間 7:00～19:30

安定した経営基盤の確立に向けて人材を確保し、エルダー制度の導入や勤務時間、業務内容の見直しなどを行い、誰もが安心して働ける職場環境作りを進める。職員一人ひとりが経験年数や職責に応じて求められる責務を自覚し、それを踏まえた目標の設定と達成に向けて、個々のスキルだけでなく、保育園全体で保育の質を向上させ、安心、安全な保育を提供する。

保育では、昨年度に引き続き「感性豊かな子ども」を重点目標とする。前回好評だった樹木匠さんとの交流を今年度も行ない、散歩コースにある植物のマップを作る。この他にも川遊びなどを通して、大田市の魅力である豊かな自然への興味関心や故郷への愛着を育てる。学びの基礎となる集中力や姿勢保持の力を養うため、習字や折り紙など日本の伝統的な活動や体操教室、姿勢改善の運動を保育に取り入れる。またコミュニケーション力や理解力の基礎となる子どもの言語について、職員が子どもの言語への知識を深め、年齢や発達に応じた絵本の選び方や言葉のかけ方について共通理解を持ち、実践する。誕生会や保護者研修・保育参観を利用し、音楽や芸術に触れる機会を設ける。

食育では、身近な食材への興味を育てるため豆腐作りを行う他、親子クッキングの対象をこれまでの5歳児から3歳児までを2歳児まで広げ、朝食の大切さを保護者へ更に伝えていく。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	入園・進級式 保護者会総会	10	親子運動会 園外保育 園児健康診断 箱寿司づくり(食育ボラとの交流) 折り紙教室(ケアハウスとの交流) ハロウィンパレード(地域交流)
5	親子遠足 交通安全教室 パン作り(ケアハウス、食育ボラ との交流) 自然体験	11	作品展 四園交流 保護者参観・保護者研修会 (年長児親子朝食クッキング) 自然体験
6	保護者参観・保護者研修会 個人懇談 虫歯予防集会 ピラあさやま交流会 園児歯科検診	12	餅つき会(地域交流・外国人交流) クリスマス会 個人懇談(全クラス) しめ縄作り(ケアハウスとの交流)
7	七夕会(祖父母参観) 川遊び 夏祭り(地域交流・食育ボランテ ィアとの交流) プール開き	1	親子茶会
8	プール納め 小学生との交流会	2	節分会 雪あそび 親子お楽しみ会 なかよし茶会
9	炊き出し訓練 お月見会 かまぼこ工場見学	3	お別れ会 なかよし遠足 新入園児・継続児健康診断 ひなまつり茶会(ケアハウスとの交流) ひなまつり会 パン作り教室 卒園式
月例 行事	体操教室(年長児) 誕生会 身体測定 避難訓練 お茶のおけいこ 習字(年長 児・年中児) クッキング保育(夏期を除く) すまいるくらぶ♪(地域交流)		
その他	法人内福祉施設との交流会 一日保育士体験(各クラス) 環境整備(春、秋) お弁当ごっこ 親子クッキング 離乳食教室 防犯訓練 芸術鑑賞 子どもの姿勢改善の運動 豆腐作り		

通所介護サービス

5. ピラおおだデイサービスセンター

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日 311日(日曜日及び1月1日～1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30～16:35

利用者ができる限り住み慣れた地域や在宅で自立した生活が送れるように、個々の心身状態や生活環境等に応じた目標設定を行い、実施していく。機能訓練にあたって、在宅生活の状況を把握するために居宅訪問チェックシートを活用し、実生活に結びついた訓練を盛り込む。また、楽しみを持ちながら体力アップや身体機能向上を図るため、屋外訓練やノルディックウォークの取組みを継続するほか、興味関心チェックシートを活用し「してみたい」を取り入れた活動をし、事業所の特色に繋げる。

利用者の重度化、認知症の進行等、多様化するニーズに対して、事業所内外の研修で知識・技術を学び、専門職として社会の期待に応えられる人材育成に取り組む。

リスクマネジメントについて、職員間で気づきの共有をする中で、適時マニュアルの見直しを図り、事故のない事業所づくりに取り組む。ハード面においても日常点検や備品管理を行うことで安心・安全なサービス提供に繋げる。

事業所の取組みを通信等活用して各関係機関に周知を図り、介護支援専門員や利用者・家族から選ばれる事業所づくりをする。デイサービスに求められる社会的なニーズ把握や情報収集を行い、ケアハウスと連携を図りながら地域貢献の取組みを行う。

行事予定表

月	行 事	月	行 事
4	花見会 屋外訓練（花見）	10	屋外訓練 火災避難消火訓練 感染症予防教室
5	火災避難消火訓練(ケアハウス合同) 屋外訓練 ビラおおだ通信発刊	11	家族交流会 屋外訓練(紅葉) 川合町文化祭出展 防犯訓練
6	食中毒予防教室 屋外訓練 家族交流会	12	忘年会 クリスマス会 脱水予防 教室
7	七夕会 屋外訓練	1	新年会 初詣
8	納涼祭 そうめん流し	2	節分会
9	敬老会 保育園交流	3	ひな祭り会 福祉展出展
その他	ボランティア団体との交流 足つぼマッサージ ビラおおだデイ通信（年4回） クッキング、喫茶、クラブ活動		

6. ビラあさやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日数 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

住み慣れた地域、自宅で安心して生活を続ける為に、利用者の暮らしに焦点をあて、「暮らしの中で何を補うことで残存機能が維持出来るのか」を考え、「自立心を取り戻す」「出来ることを自覚する」「仲間と出会う」場、介護する場から生活を支える場として、施設全体がリハビリテーションの場である意識を持ち、支援を行う。

近年の家族形態の変動、今後の介護保険の動向に合わせて、看取りや重度化防止等についての専門的研修への参加、事業所内研修を行い、知識、技術を身につける。また、医療との連携を密に行い、医療依存度の高い利用者、重介護者への受入れを行い、迅速にケアの実践を行う。

地域の方が集う場所へ出向き情報収集、発信し、積極的にボランティアを受入れ、事業所、地域との繋がりを深める。

中・長期計画Ⅱ期に基づき、より事業所内のコミュニケーションを図り、リーダーが率先して業務改善や目標の達成、施設整備等を検討し、職員一人ひとりが自らの役割を認識し、自主性を持って取り組める事業所とする。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) 交通安全教室	10	屋外訓練(紅葉) 波根保育園交流会 運動会 火災避難消火訓練 屋外食
5	屋外訓練(花見) 火災避難消火訓練 野外食 体力測定	11	文化祭出展・参加(朝山、富山) 屋外訓練 体力測定 感染症予防教室 絵手紙教室
6	相愛保育園交流会 屋外訓練(日常生活動作訓練) 陶芸教室 家族介護教室	12	クリスマス会 そば道場 忘年会 フラワーアレンジメント(門松作り) 波根保育園交流会 餅つき
7	七夕 食中毒予防・熱中症予防教室	1	初詣 お茶会
8	地域・家族交流会 波根保育園交流会 夏祭り	2	節分 食育教室
9	敬老会 屋外訓練 食育教室 土砂災害避難訓練	3	ひなまつり会 屋外訓練
その他	喫茶、園芸活動、奉仕活動、クッキング、手芸、ボランティア受入れ等		

認知症対応型通所介護・介護予防認知症対応型通所介護

開所日数 311日(日曜日及び1月1日～1月3日まで休業)

サービス提供時間 9:30～16:35

その人らしく生活する為に、どんな暮らしをしてきたのか、利用者が生きてきた時代を本人、家族、関わっている人々からアセスメントをし、その人を良く知ることから始め、以前行っていたこと、今でも出来ることを把握する。

定期的に認知機能検査を実施し、役割作りにおいては評価内容に合わせたプログラムを作成し実施する。

重度の認知症の利用者の方には、相手のすべてを受け入れることから始め、言語、非言語コミュニケーションを使い、各関係機関（家族、主治医、各サービス）と連携しながら落ち着いて過ごせるよう環境等を整え、一人ひとりの個性に合わせて、個別性、柔軟性を持って支援を行う。

地域の方が集う場所へ出向き情報の収集と発信をし、中・長期計画Ⅱ期に基づき、より事業所内のコミュニケーションを図り、リーダーが率先して業務改善や目標の達成、施設整備等を検討し、職員一人ひとりが自らの役割を認識し、自主性を持って取り組める事業所とする。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	屋外訓練(花見) 交通安全教室 認知機能検査	10	屋外訓練(紅葉) 波根保育園交流会 運動会 火災避難消火訓練 屋外食 認知機能検査
5	屋外訓練(花見) 野外食 火災避難消火訓練	11	文化祭出展・参加(朝山、富山) 屋外訓練 感染症予防教室 絵手紙教室
6	相愛保育園交流会 屋外訓練(日常生活動作訓練) 陶芸教室 家族介護教室	12	クリスマス会 そば道場 忘年会 フラワーアレンジメント(門松作り) 波根保育園交流会 餅つき
7	野外食 七夕 食中毒予防・熱中症予防教室	1	初詣 お茶会
8	野外食 地域・家族交流会 波根保育園交流会 夏祭り	2	節分 食育教室
9	敬老会 屋外訓練 食育教室 土砂災害避難訓練	3	ひなまつり会 屋外訓練
その他	回想法、学習、音楽、園芸療法、アロマセラピー等 喫茶、奉仕活動、クッキング、手芸、ボランティア受入れ等		

7. ビラたかやま

通所介護・介護予防通所介護相当サービス

開所日数 311日（日曜日及び1月1日～1月3日まで休業）

サービス提供時間 9：30～16：35

利用者一人ひとり「個」を大切に、自立支援の視点から在宅生活が維持できるよう、助言や介護、機能訓練、余暇の活動等の適切なサービスを提案し、地域との繋がりや交流を図りながら地域に貢献できる施設づくりを行う。

パソコンやiPad等を更に活用し、引き続き業務の効率化、業務内容の省力化を図ると共に職員一人ひとりが計画的に業務を進める事ができるよう進捗状況を確認、相談しながら、職場全体での意識を高め、互いに協力して働きやすい職場環境を整備する。

中・長期計画Ⅱ期の最終年度として、法人のキャリアパスに応じて事業所や個々の課題解決に向けて速やかに対応できるリーダー的人材のレベルアップ、専門性を有する職員の育成を行い、目標管理においての個々の目標達成と事業所の計画が達成出来るよう取組みを実施する。

行事予定表

月別	行 事	月別	行 事
4	花見 屋外訓練	10	運動会 体力測定 保育園交流会 感染予防教室 屋外訓練
5	保育園交流会 屋外訓練 ビラたかやま通信発刊	11	文化祭出品 見学 屋外訓練 火災避難消火訓練
6	火災避難消火訓練 脱水予防教室 屋外訓練 体力測定	12	忘年会 餅つき クリスマス会
7	七夕 屋外訓練 そうめん流し 家族交流会(夏祭り)	1	新年会 初詣 お茶会 屋外訓練 正月遊び ビラたかやま通信発刊
8	保育園交流 屋外訓練	2	節分
9	敬老月間 お茶会 屋外訓練 土砂災害避難訓練	3	ひな祭り 屋外訓練

訪問サービス

8. ビラおおだデイサービスセンター

訪問入浴介護・介護予防訪問入浴介護

寝たきりなどの理由で在宅での入浴が困難な高齢者に対し、身体の清潔保持、心身機能の維持回復を図り、可能な限り自宅において日常生活を送ることができるよう安心安全なサービス提供をする。

ターミナルや医療依存度の高い利用者が増加する中、専門性を持って入浴介護を行う為、知識と技術等を勉強会により習得しスキルアップに繋げる。また、ヒヤリハットや気づきの

検証、機材などの日常点検と衛生管理を定期的実施する。

入浴前の体調によっては、部分浴・清拭などに切り替え、また、病状の急変が生じた場合などかかりつけ医、各関係機関との密な連携を図り信頼される事業所づくりを行う

9. ビラおおだホームヘルプステーション

訪問介護・介護予防訪問介護相当サービス・障がい福祉サービス

利用者が住み慣れた地域や施設で生活していくため、心身や環境状況に応じて自立した生活を営むことが出来るよう、利用者のできる能力を把握して、日常生活で活かせるよう各職種間と連携して支援していく。また、多様なニーズ（認知症、ターミナルケア、重度化対応）や利用者の状態に応じた介護が出来るよう、質の高いサービスに向け個別対応能力の向上を図るため、事業所内外の研修会参加や勉強会を行い、職員が一体となって取り組む。

働きやすい職場環境の整備に向け、職員間のコミュニケーションを大切にし、日々の業務の中での気づきやリスクマネジメントの共有、また、訪問時間の調整等職員同士がお互いにサポートし合い、安心して長く勤められる事業所づくりを目指していく。

居宅介護支援事業所との連携の強化、利用者の思いや要望に応じていくため、利用者満足度調査を行い、より良いサービスに繋げていく。

ケアハウス、養護老人ホームの施設機能を活かし、訪問件数を維持していくとともに多職種との連携を密にして、柔軟かつタイムリーな対応を行い入居者の安心安全な生活を支援していく。

10. ビラおおだ居宅介護支援事業所

居宅介護支援・介護予防居宅介護支援・介護予防ケアマネジメント

特定事業所として、主任介護支援専門員を中心とし、質の高いケアマネジメントを実施し利用者の生活の質の向上を目指す。

利用者に関する情報又はサービス提供にあたっての留意事項に関する伝達を目的としたケース会議を週1回行っていく。また、医療ニーズの高いケースや支援困難ケースの受入れに当たっては地域包括支援センターや関係各所との連携を密にして積極的に取り組むとともに、事例検討会については計画に基づき、居宅介護支援部会や地域包括支援センターが実施する研修会等に参加し、ケアマネジメントの質を高めていく。

介護支援専門員実務研修の見学実習の受入れを積極的に行い、指導力の向上を図る。また、地域の要望に対して介護予防教室や認知症サポーター養成講座などを開き、協力していく。

法人内事業所と随時検討を行い、サービスの質の向上に向けて取り組むとともに、社会情勢の変化や推移などの必要な情報は、法人内事業所へ積極的に発信する。

経営基盤の構築については、多職種の専門職による専門性を活かした支援が提供できることをPRしながら、集中減算に留意し介護給付目標件数を目指すとともに、状況に応じて予防プランを受入れ健全な事業を推進する。